

陶磁器デザインアプリ「iroe」運用への支援

松本 奈緒子
佐賀県窯業技術センター

当センターでは、令和4年度に県内の陶磁器産地内で使用されている絵具の色見本とその色を用いたカラーデザインや絵付けデザインを行うことができるアプリケーション「iroe」を開発し、令和5年4月にリリースした。今年度はアプリ内の絵具データや文様データ、形状データの追加を行い、コンテンツ内容の強化を行った。また、iroe アプリについてのウェブサイトと各種 SNS での情報発信をスタートした。さらに、iroe アプリや関連する取組の展示に対する協力・支援を行った。

キーワード:陶磁器、デザイン、アプリケーション、産地支援

Support for the project of the ceramic design app “iroe”

MATSUMOTO Naoko
Saga Ceramics Research Laboratory

We have been operating the application "iroe," which was developed in 2022. This time, the contents of the application have been strengthened with the addition of color data, pattern data and shape data. In addition, information about the iroe application has been disseminated on the website and various social networking services. Furthermore, cooperation and support were provided for the exhibition of the iroe application and related initiatives.

Key Words: Ceramic, Design, Application, Support for local production

1. はじめに

アプリケーション「iroe」は、佐賀県の伝統的な陶磁器産業において、絵付け加飾製品の継承と発展、及び利便性の向上やデジタル化等を目指し、絵具のカラーチャートとその色で絵付けデザインができるスマートフォンやタブレット用のツール系アプリとして開発されたもので¹⁾、令和5年4月にリリースされた。このアプリは、平成30年度に行った「陶磁器製品の配色デザインに関する研究」²⁾で製作したカラーデータベースを基にして利用し、産地特有のカラーバリエーションを持つ絵具の色を、デザイン作業や商談に気軽に活用することができる、一般向けアプリとして開発したものである。当センターでは昨年に引き続き、この iroe アプリの産地内での運用を推進している。アプリ内容の更なる充実化と今後の発展的な運用のため、今回はアプリ内に搭載している絵具データ、形状データ、伝統文様データの追加を行うとともに、ウェブサイトの作成と SNS での情報発信を行った。また、iroe アプリに関連した展示への協力を行った。それらの事例について報告する。

2. 各種データの追加

本アプリの主な機能は、色見本コンテンツ及び絵付け体験コンテンツを搭載しており、今回それぞれのコンテンツについてデータの追加を行った。

2.1 色見本コンテンツ

表1 追加した10色の下絵具データ

	絵具名	近似色	L*	a*	b*	マンセル H	マンセル V	マンセル C
1	墨茶		53.43	-5.46	5.85	8.59GY	5.25	1.33
2	墨茶		61.8	-5.03	5.93	8.15GY	6.09	1.19
3	グリーン		44.02	-16.8	20.38	8.43GY	4.37	4.84
4	グリーン		59.27	-14.2	18.48	8.24GY	5.87	4.09
5	トルコ青呉須		76.13	-10.7	-9	6.67B	7.48	3.35
6	トルコ青呉須		81.49	-7.25	-4.8	5.11B	8.07	2.16
7	赤No.5		58.75	29.13	18.84	6.93R	5.84	7.58
8	赤No.5		69.22	17.04	12.04	7.70R	6.88	4.6
9	からし色No.2		79.58	4.26	28.72	2.90Y	8.01	4.33
10	からし色No.2		82.99	1.1	16.98	4.08Y	8.32	2.32

色見本コンテンツでは、当初より下絵具(呉須)は7色、上絵具(無縁上絵具)は144色の色データを掲載していたが、今回、下絵具の中でも呉須らしい深い青色以外の色味について、新たに10色のデータを追加した(表1)。

2.2 絵付け体験コンテンツ

絵付け体験コンテンツにおける絵付けの器形状は、当初より2形状(湯呑み、平皿)から選択できるようにしていたが、より多様な形状への絵付け体験ができるよう、今回はさらに茶碗と角皿の2形状を追加し、計4形状への絵付け体験が可能となった。追加した形状2種を図1,2に示す。また、佐賀県陶磁器産地の伝統文様をスタンプにしてデザインに使用できる機能については、今回、新たに伝統文様スタンプ計20種(下絵付用7種、上絵付用13種)を追加した(図3,4,5)。なお、伝統文様のデータは、これまでと同様、佐賀県立九州陶磁文化館に御協力いただき、収蔵品の中から選択した作品を撮影し、画像データを編集し文様スタンプとして追加した。使用できる伝統文様スタンプは、合計で下絵付用38種、上絵付用33種となった。



図1 追加した形状(茶碗).

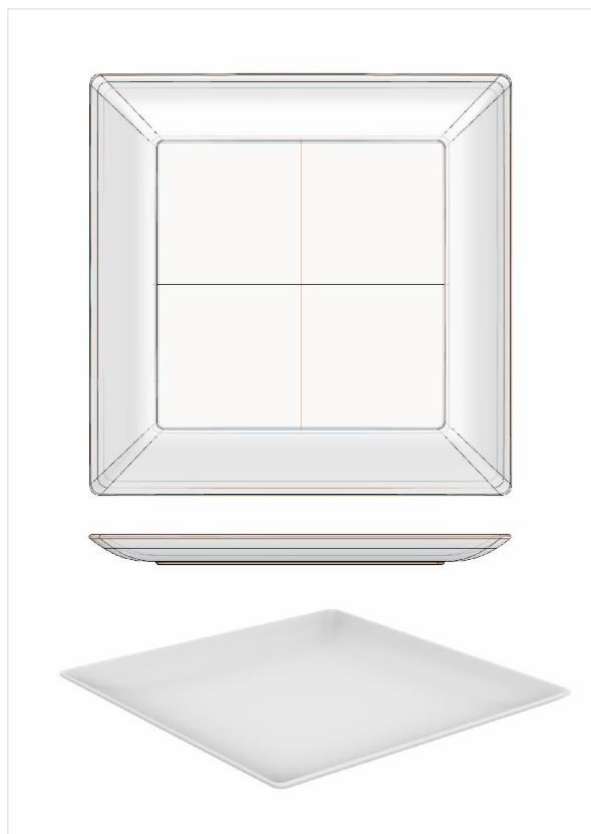


図2 追加した形状(角皿).



図3 追加した下絵の伝統文様スタンプ.



図4 追加した上絵の伝統文様スタンプ.

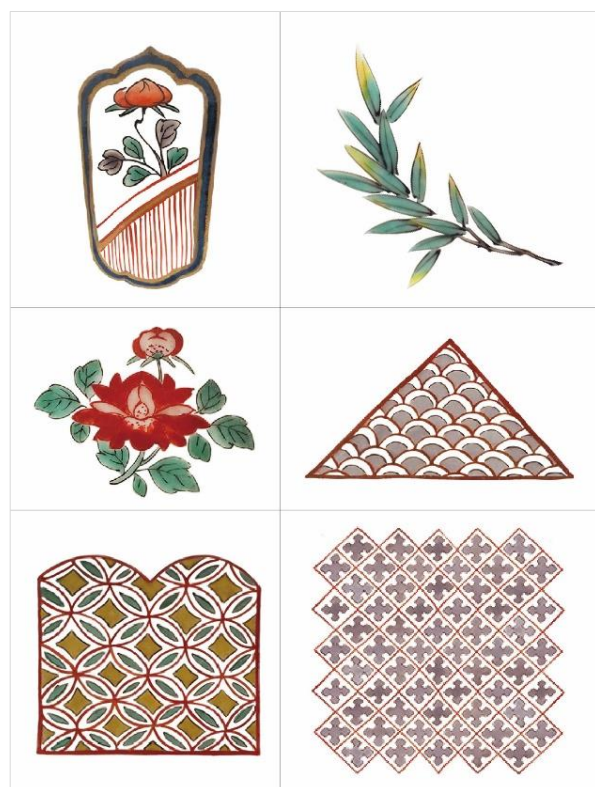


図5 追加した上絵の伝統文様スタンプ.

3. ウェブサイトと各種 SNS での情報発信

アプリに関する情報を発信するため、iroe アプリのウェ

ブサイトを制作した(図 6)。ウェブサイトでは、アプリの基本的な機能や使用方法、イベント等の広報を行っていく。また、各種 SNS(Facebook、Instagram、X)のアカウントを作成した。SNS では、ウェブサイトよりも詳細なアプリの特徴や各情報を発信している。各 URL は以下の通りである。

ウェブサイト:

<https://saga-iroe.jp/>

Facebook:

<https://www.facebook.com/sagairoe>

Instagram:

<https://www.instagram.com/sagairoe>

X:

<https://x.com/sagairoe>

また、上記ウェブサイト、SNS への二次元コードを図 7 に示す。



図6 iroe アプリウェブサイトのホーム画面.



図7 iroe アプリ各種 SNS の二次元コード.

4. 関連する展示への協力・支援

4.1 iroe アプリ体験の展示協力

佐賀県立宇宙科学館にて令和6年7月13日(土)~9月1日(日)まで開催された 企画展「カラフル〜色の不思議のサイエンス〜」において、陶磁器に関する色を体感する

ためのツールの紹介として、iroe アプリの展示協力を行った。説明パネルと、実際に操作ができるタブレットを展示し(図 8)、企画展の期間中に子どもをはじめ幅広い世代にアプリに触れていただく機会となった。



図8 宇宙科学館企画展での iroe アプリの展示の様子。

4.2 iroe アプリによる開発事例の展示支援

佐賀県立九州陶磁文化館にて令和6年8月10日(土)～18日(日)まで開催された「第20回伊万里・有田焼伝統工芸士会作品展『PRIDE』」において、令和5年度に iroe アプリを使用して制作を行った作品の展示支援を行った。展示した作品は、ある企画において、iroe アプリを活用し一般の方18名がタブレット上で制作したそれぞれのデザインを、伝統工芸士の会員の方々に実際に絵付けをしていただき完成したものである³⁾。佐賀県陶磁器工業協同組合を通して伝統工芸士会から展示協力の依頼を受け、伝統工芸士により絵付けが施された18点の作品と、それぞれの絵付けの元となるデザイン図面のパネル等を並べて展示した(図9,10,11)。関係者や来場者には、アプリというデジタルツールと伝統工芸士の技術が融合して出来上がった作品として、また新鮮で新しい伝統的なものづく

りへの取組例として注目していただき、多くの方に今後の展開への期待のお言葉をいただいた。



図9 伝統工芸士展の展示会場の様子。



図10 伝統工芸士展での iroe アプリを活用した開発商品の展示。



図11 伝統工芸士展での iroe アプリを活用した開発商品の展示。

5. まとめ

昨年に引き続いて今回もアプリに対して機能的な追加を行ったことにより、ユーザーに向けた陶磁器のデザインアプリとしての機能性の充実を図ることができた。また、

ウェブサイトと各種 SNS の運用を始め、ユーザーへの情報発信の準備が整った。今後の展開として、引き続きアプリの利用促進を図りながら、さらに発展的に産業の向上につなげるための流れをつくる必要がある。今回整備したウェブサイトと各種 SNS の運用を進めながら、今後は実際のイベント等での活用や周知にも取り組み、アプリの運用を進める予定である。

参考文献

- 1) 松本奈緒子, 佐賀県窯業技術センター令和 4 年度研究報告書・支援事業報告書, 12-14 (2022).
- 2) 松本奈緒子他, 佐賀県窯業技術センター平成30年度研究報告書・支援事業報告書, 6-10 (2019).
- 3) 松本奈緒子, 佐賀県窯業技術センター令和 5 年度研究報告書・支援事業報告書, 23-25 (2023).